

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 星 栄 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助（定員 16名）在籍者 16名（平成30年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 338日																																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th>収支差額</th> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>72,120千円</td> <td>経常活動</td> <td>63,796千円</td> <td>7,886千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>37,351千円</td> <td>人件費</td> <td>45,859千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>13,574千円</td> <td>事務費</td> <td>2,034千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>11,737千円</td> <td>事業費</td> <td>11,903千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>4,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,458千円</td> <td>施設整備等</td> <td>438千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72,120千円</td> <td>合計</td> <td>64,234千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	経常活動	72,120千円	経常活動	63,796千円	7,886千円	給付費	37,351千円	人件費	45,859千円		川崎市単独扶助	13,574千円	事務費	2,034千円		指定管理委託料	11,737千円	事業費	11,903千円		拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	4,000千円		その他	9,458千円	施設整備等	438千円		合計	72,120千円	合計	64,234千円			
収入		支出		収支差額																																							
経常活動	72,120千円	経常活動	63,796千円	7,886千円																																							
給付費	37,351千円	人件費	45,859千円																																								
川崎市単独扶助	13,574千円	事務費	2,034千円																																								
指定管理委託料	11,737千円	事業費	11,903千円																																								
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	4,000千円																																								
その他	9,458千円	施設整備等	438千円																																								
合計	72,120千円	合計	64,234千円																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活能力は持っているが社会のルールに基づいた行動に課題がある利用者に対して、利用者の人権の尊重を第一として、「支援しやすい体制」ではなく、「利用者が主体的に自分の想いを実現できる体制」づくりをすることで、利用者本人が理解しやすく、自分で実行できるようになるための支援を行っている。</li> </ul>																																										

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の想いを育て、実現するための支援を行うことを重視している。特に、金銭管理や買い物では、利用者が計画的・主体的に自分のお金を使えるようになるため、話し合いのもと計画的に支出している。</li> <li>・現在の利用者のうち7名は開所当時から利用しており、ほぼ全員通所先が井田日中活動センターのため、陽光ホームからの地域移行をイメージしづらくなっている。結果として、入退所者はいなかったが、陽光ホーム以外で泊まる経験をするため、後見人と旅行に行くなど、地域で暮らすためのイメージづくりを行っている。</li> <li>・地域生活体験事業は平成28年度と比べ、延べ31名→128名、延べ102日間→338日間と利用が増加した。多くは桜の風の利用者だが、障害者相談支援センターや区からの紹介もあり、体験利用者のうち2名が地域移行した。</li> </ul>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支出については、初年度備品として購入した洗濯機と男性棟の乾燥機をすべて買い替え、また、エアコンも全室買い替えるなど生活環境の整備を予算の範囲内で適正に行った。</li> <li>・収入については、債権管理を的確に行い、安定した給付費収入により、当初見込を上回った。また、収支もプラスであった。</li> <li>・法人として、平成29年度から自主的に会計監査人監査を実施し、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行って、陽光ホームにおいては特段の指摘はなかった。</li> </ul>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者とのコミュニケーションを重ねながら意思の確認を行い、個別支援計画を作成している。利用者とのコミュニケーションにおいては、自ら要望を伝えることでかえって混乱を招く場合は「相談ノート」を書いてもらう等の工夫を行い、また、言葉の少ない利用者にはカード等の利用により意思確認を行っている。</li> <li>・業務日誌及び業務伝達帳等により、職員全員に必要事項を伝えるとともに、利用者の障害特性をその都度確認し、適切な指示を出すことで、利用者の混乱と支援者（とくに夜間一人で支援することの多い世話人）の不安を最小限にするよう努めるなど、職員全員が利用者の障害特性を知ったうえで、利用者の想いを実現できるような支援を行っている。</li> <li>・平成29年度は、法人内他施設と協力し、「利用者人権面接調査」を男女各2名の利用者に対して行った。</li> </ul>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・管理者や支援員のみならず世話人の資質向上のため、法人主催の「世話人研修」「世話人会議」に出席しているほか、施設長やサービス管理責任者との対話を重視し、事業計画・個別支援計画の内容理解を図っている。 ・支援員が法人内他施設における「リスクマネジメント委員会」と「人権委員会」に参加し、危険対応や人権意識の向上に努め、他の職員にも周知を図っている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守・点検等について、施設職員及び委託業者により適切に実施されている。 ・安全・安心を確保するため、環境整備と併せて日常的に事業所内外の整理整頓を心掛けるとともに、危険物の保管場所を限定する等の工夫をしている。消耗品等については「誰が見ても、どこに何がどれだけあるか」が分かるよう、点在していたものを1か所に保管し、同時に在庫管理と発注の効率化を図っている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満  
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・ご家族や後見人だけでなく、日中活動先や相談支援事業所、区保健福祉センター等の関係機関と常に連携をとり、支援者全員で地域移行に向けた利用者本人の想いを丁寧に育て、実現していく支援に取り組んでいる。  
 ・サービス管理責任者を中心に、利用者の障害特性をその都度確認し、適切な指示を出すなど、世話人をはじめとする支援者の不安を取り除くことで、利用者に対して行動を制限するのではなく、利用者が自ら理解し実行できるような支援を行っている。  
 ・地域生活体験事業では、様々な希望や不安を抱えながら体験を考えている利用者や家族の思いを大切に、時間をかけて地域生活のイメージをつかっていくために繰り返し体験を希望する利用者にも柔軟に対応する等、ニーズに即した丁寧な取組が行われている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・地域生活体験事業については、大幅に利用者を増やし、体験事業から2名が地域移行していることは高く評価できるが、今後については、他法人からの利用者の増加にも努めていただきたい。